

夢に向かって

学校教育目標(菊鹿小中学校)「ふるさとを愛し、夢の実現に向けて挑戦し続ける児童・生徒の育成」
菊鹿小スローガン ～ 関わり合い 認め合い 菊鹿愛 ～ 文責 校長 内古閑 見至

楽しく 多くのことを学んだ集団宿泊教室



5年生は、11月12日(水)、13日(木)の1泊2日で菊池少年自然の家を訪れ、集団宿泊教室を行いました。グループで協力しながら自然の中を歩き回り、チェックポイントで出されるクイズに答えていく「キューハンティング」や樹齢400年と言われる天狗杉を目指した「観音岳ハイキング」、ニジマスを捕まえ塩焼きにして食べる「ニジマスつかみ」などの体験学習を通して、様々なことを考え、多くのことを学びました。

また、集団生活では、家庭とは違う環境の中、集団のルールを守り、自分の役割を果たしながらみんなが気持ちよく過ごせるためにはどうすれば良いかを考え、実践することができました。集団宿泊教室のめあては次の4つでした。



- クラスの仲間ときずなを深めましょう。
- 役割を果たし、集団行動を身に付けましょう。
- 自然に親しみ、大切にすることを身に付けましょう。
- 最後までやり抜く、強い心と体をつくりましょう。

子ども達の感想・ふりかえりでは、以下のような内容がたくさん出されました。

- ・いろいろな活動で協力することや助け合うことができ、更に仲良くなりました。
- ・ニジマスつかみは怖かったけど、命を頂くことの意味がわかった。感謝の気持ちをもって食事をし、残さないようにしたい。
- ・ハイキングはとてもきつかったけど、あきらめずに頑張ることができ、最後には「やったぞ!」という充実感が湧いた。また、大きな天狗杉に登れてとても嬉しかったし、自然の素晴らしさを感じた。これから自然を大切にしていきたい。
- ・楽しかった集団宿泊教室を計画してくださった先生方や活動の準備、説明をしてくださった所員のみなさんに感謝しています。

菊池少年自然の家の指導員さんからは、元気な気持ちの良いあいさつ、しっかりと話を聞く態度、仲良く協力する姿、活動に集中し最後までやり抜くことができたことなどたくさん褒めていただき、子ども達の自信へとつながりました。

この宿泊教室を通して学んだ事を、これからの学校生活に生かし、更に成長してほしいと思います。

校内読書月間（11月）「しおりづくり」

本校では、毎年11月を校内読書月間とし、読書に関する様々な取組を行っています。

その一環として行っている「しおりづくり」は、子ども達にも先生・保護者にも人気があるイベントです。今年は、11月4日(火)に実施され、各学年が1時間ずつしおりづくりに挑戦しました。しおりの台紙に貼る星や雪の形・動食物等のパーツは、PTA家庭教育部の保護者の皆さんが、事前に、夜集まって作成されました。



しおり作りを指導していただいたのは、川西の松本てるみさん、長女悠理乃さん親子。菊鹿小開校以来ずっと、六郷小時代も含めると20年間この活動を続けておられます。糊の塗り方をはじめ、状況を見ながら一人一人に丁寧に指導され、子ども達は一人3枚ずつしおりを作りました。アニメのキャラクターや紅葉やイチョウの葉・花、クリスマスの情景などを表したしおりが完成しました。読書月間中はいつもと違って、3冊まで本を借りることができます。たくさんの本を借り、自分で作ったしおりを使いながら読書に親しんでほしいと思います。



当日、しおりづくりに参加し、子ども達と一緒に楽しく活動していただいたり、率先して準備や片付けをしたりしてくださった保護者の皆様、大変ありがとうございました。

また、11月の水曜日を、メディアコントロールチャレンジに併せて読書をする日として、家族で本に親しむ時間をもって頂けるよう図書便りで呼びかけています。「おうちで読書カード」の記入・提出もよろしくお願いします。

